

△注意・使用上の注意

■使用上の注意（保管・使用環境）

1. 脱アセトンタイプ以外のRTVシリコンゴム（Room Temperature Vulcanizing Silicone Rubber）雰囲気での使用および保管は避けてください。
2. 使用前の製品は、温度-10~40℃、湿度30~85%RHで保管してください。
3. 硫黄や塩素を含まない雰囲気中で保管してください。
4. 製品納入後、6ヶ月以内にご使用ください。
5. 直射日光の当たる所での保管は、避けてください。

■使用上の注意（その他）

当製品のご使用にあたっては、実際の貴社製品に実装した状態で必ず評価・確認してください。

■使用上の注意（取り扱い上の注意）

1. ドライバーは、ドライバー溝に無理なく挿入できるドライバーをご使用ください。下記のドライバーをご推奨いたします。
 - ・手調整用推奨ドライバー
標準タイプ … ムラタ製: KMDR010
 - ・自動調整用推奨ドライバービット
標準タイプ … ムラタ製: KMBT010

■使用上の注意（実装上の注意）

1. はんだ付け
 - (1) リフローおよびはんだこてによるはんだ付けが可能です。フロー（浸漬法）はんだ付けはできません。
 - (2) 当社の標準ランド寸法にて使用してください。必要以上に大きすぎる場合、はんだ熔融時の表面張力により位置ズレ発生の原因やフラックスによる接触トラブルの原因となります。また、逆に小さすぎるとはんだ付け強度不足となります。
 - (3) はんだ付け条件
温度プロファイルをご覧ください。
はんだ付け時間が長すぎたり、はんだ付け温度が高すぎたりしますと、製品の機能を損なう恐れがあります。
 - (4) はんだ量は過少・過多にならないようにして、はんだ付けをしてください。
 - (5) リフローはんだの場合、クリームはんだの塗布厚は150~200 μ m、ランドパターン寸法は、当社標準ランドパターン寸法を採用ください。上記条件以外の場合、はんだ固着強度不足、はんだブリッジの発生、フラックス上がりによる接触不良が発生する可能性があります。
 - (6) はんだこてを使用する場合、糸はんだは ϕ 0.5、2mm以下で端子の下部に供給し、端子部以外にフラックスが付着しないようにしてください。はんだ量が多い場合や端子上部に供給した場合、フラックスやはんだが可動部に浸入し、ロータを固定したり、接触不良になる場合があります。また、はんだこて先がステータに触れないように留意してください。こて先が触れた場合、ステータ破損の原因となる恐れがあります。

6. 当製品は以下の環境および条件ではご使用いただけません。
 - ・腐食性ガス雰囲気（塩素ガス、硫化水素ガス、アンモニアガス、亜硫酸ガス、酸化窒素ガス）
 - ・液体中（水、油、薬液、有機溶剤等）
 - ・塵埃の多い所
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・静電気や電界強度の影響の強い所
 - ・潮風の強い所
 - ・その他上記項目に準ずる所

2. ドライバーで調整する際、1.0N（参考値: 100gf）以下の荷重で行ってください。大きすぎる場合、製品を破壊したり機能を損なう恐れがあります。
3. メタルロータを固定するために接着剤を使用したり、ロックペイントやその他の物質をトリマコンデンサに塗らないでください。腐食、接触不良などの原因となることがあります。

- (7) クリームはんだは塩素含有率 0.2wt%以下、糸はんだは塩素含有率 0.5wt%以下のものをご使用ください。
- (8) フラックスをご使用になられる場合は、水溶性フラックス（水洗浄タイプ）はご使用にならないでください。フラックスは、端子以外に付着しないようにしてください。特性劣化の原因になります。
- (9) 構造上底面にカシメ部を持つため、この部分にはんだが流れ込まないように留意してください。流れ込みますと中心軸（ロータ）回転不能の原因となります。

2. 実装

- (1) トリマコンデンサを基板に取り付ける際、トリマコンデンサに5.0N（参考値: 500gf）以上の力を加えないようにしてください。
- (2) 基板に大きなそりや曲げを加えた場合トリマコンデンサが破損する場合がありますので、基板のそり、曲がりを防止する取り扱いをしてください。
- (3) プレーサーのノズル寸法は、外径2.5mm、内径1.5mm程度を推奨します。

3. 洗浄

密閉構造ではありませんので、洗浄はできません。

4. その他

金属ドライバー等による調整時の浮遊容量は、一端子側を回路のアース側に取り付けることで軽減することができます。（一端子側は外形寸法図でご確認ください。）